

平成・南部藩「一日国替え」事業

青森県七戸町長来町

11月7日、8日（月・火）に平成・南部藩「一日国替え」事業が行われ、青森県七戸町の小又町長が一日領主（町長）として南部町を訪れました。

7日（月）は一日領主として南部町を訪れた小又町長が町職員に講話を行い、七戸町の概要・観光、町づくりについて話をいただきました。

その後は、南部の浄光寺を訪れ南部氏の供養塔への参拝をし、アルカディア文化館、南部町文化ホールを視察しました。

南部氏を通して生まれた交流を大事にし、互いの文化・歴史を学び継承し多くの町民の皆様は南部氏の歴史を知っていただければと思います。



一日領主任命



供養塔への参拝



アルカディア文化館への訪問



小又町長の講話

創りだそうくらしの中に輝きを！

第14回 南部町民文化祭

11月6日（日）、南部町文化ホールにおいて、第14回南部町民文化祭「芸能発表会」が開催されました。発表会は、36の団体による舞踊、コーラス、太鼓演奏また、若者によるバンド演奏やダンスの演技もあり、盛り上がりしました。

また、「展示発表会」は、11月11日（金）から13日（日）まで、活性化センターで行われ、会場には、町内保育所、小中学校児童生徒の作品のほか、一般や公民館講座の受講生などによる作品が展示され、来場者を楽しませてくれました。



みどり幼稚園園児の作品



お茶をいただきました



南部中学生の作品



南部中学校吹奏楽部の演奏

「災害時におけるLPガスの供給等に関する協定」 「災害時における遺体安置所等の協力に関する協定」 調印式

11月24日(木)、25日(金)役場本庁舎にて、山梨県LPガス協会峡南地区会と、「災害時におけるLPガスの供給等に関する協定」また、ふじかわ農業協同組合と、「災害時における遺体安置所等の協力に関する協定」調印式が行われました。

山梨県LPガス協会峡南地区会との協定は、毎年全国各地で多くの大災害が発生し、被災地では復旧・復興に向け対策は年々進んでおりますが、ひとたび大災害が発生した場合には、ライフラインが広範囲にわたり途絶することが予測されます。東日本大震災でもライフラインの中でLPガスが一番早く復旧し供給できた実績もあり、町内には6社のLPガス業者があり、被災した住民の生命を守るための連携強化を深め、迅速かつ確に実行できることを目的としています。

ふじかわ農業協同組合との協定は、大規模災害等が発生した場合には、多くの方々が犠牲となることも予想され、東日本大震災でも多くの方々が犠牲となりました。そのため、公共施設等を選定し安置所として開設しなければなりません。災害応急対応拠点施設等として公共施設等を使用しなければならないことから安置所として使用できる公共施設が不足する事態となることが想定されます。災害時におけるご遺体に対する対策は喫緊の課題であるため、災害時には、「JAふじかわせしモニーホールあじさい南部」をご遺体安置所として使用することができるよう協定を結びました。

このたびの、山梨県LPガス協会峡南地区会様、ふじかわ農業協同組合様のご理解とご支援による協定締結には、深く感謝を申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



LPガス協会との協定



JAふじかわとの協定

11月13日(日)、南部町消防団による『秋季移動消防学校』がアルカディア運動場で行われました。

消防学校の開設では、安心で安全な町づくりの推進を目指すことへの理解と出初式に向けた団員等の基礎訓練を主に、講師には峡南消防本部の職員を迎えてポンプ車操法・規律訓練が行われ、午後には、栄・万沢地区で防火パレードが行われました。

また、11月9日(月)～15日(日)までの火災予防週間では、啓発用のほり旗や看板等の掲出、サイレンの一斉吹鳴、団員による夜間巡回広報等を行い、火災予防啓発活動を各部で実施しました。

これから
も空気が乾
燥する時期
が続く、火
災が発生し
やすくなり
ます。更な
る注意をお
願います。



防火パレードを行いました



峡南消防本部の職員に指導していただき、皆真剣に取り組みました

平成28年度 秋季移動消防学校